

平成 27 年度 分析・物質技術系講習会報告

高田昇治

工学系技術支援室 分析・物質技術系

1. はじめに

今年度の分析・物質技術系講習会を以下のように開催した。

開催日時：平成27年10月5日（月）13:35～15:35

開催場所：知の拠点あいち

講習題目：あいち産業化学技術総合センター 高度計測機器・シンクロトン光センター
ビームラインの見学および説明

講師：シンクロトン光センター 共同研究支援部 計測分析室長 西村美郎氏
産業利用コーディネータ 和田明生氏

参加者：分析・物質技術系技術職員 10名

2. 目的

「知の拠点あいち」は、あいち産業科学技術総合センターとあいちシンクロトン光センター及び新エネルギー実証研究エリアの3つの施設から構成され、付加価値の高いモノづくりを支援するため、愛知県が愛・地球博会場跡地において整備を進めている研究開発拠点である。あいちシンクロトン光センターでは、名古屋大学の技術職員も支援業務を行っており、決して遠い存在ではない。あいち産業科学技術総合センターは、産学行政が連携し共同研究を実施する場所であるとともに、電子顕微鏡などナノテク分析機器が揃っている。今回、知の拠点あいちを見学することによって、広く分析技術・周辺技術の知識を広げることが主な目的である。



写真1 分析機器施設の見学

3. 実施概要

最初に、計測分析室長の西村美郎氏の案内で分析機器施設を見学した(写真1)。小部屋ごとに異なる分析機器が設置されており、顕微鏡観察、表面分析、成分分析、質量分析などの分析手法に関する説明の他、機器の管理運営についても説明を受けた。その後、産業利用コーディネータの和田明生氏よりシンクロトン光センターのビームラインの説明をして頂いた(写真2)。各実験ブース内での実験の様子について細かく説明を受けた。これらの施設の見学は、分析・物質技術系の技術職員にとっては、極めて貴重な体験であり、知識を広げ、自らのスキルを上げるには良い機会となったと思う。



写真2 ビームラインの見学